

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 東祥

コード番号 8920 URL <http://www.to-sho.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 沢名 俊裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 桑添 直哉

四半期報告書提出予定日 平成23年11月4日

配当支払開始予定日

TEL 0566-79-3111

平成23年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,892	10.2	1,262	3.6	1,171	4.0	661	13.3
23年3月期第2四半期	5,346	1.4	1,218	10.4	1,126	18.0	584	8.2
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
		円 銭	37.62	—		円 銭		
24年3月期第2四半期			33.20	—				
23年3月期第2四半期								

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
24年3月期第2四半期	26,510		7,952		30.0		452.07	
23年3月期	25,932		7,387		28.5		419.89	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,951百万円 23年3月期 7,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
23年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00	
24年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	11,900	10.2	2,520	14.6	2,300	15.0	1,220	13.9	69.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧下さい。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	17,592,351 株	23年3月期	17,592,351 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,925 株	23年3月期	1,889 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	17,590,435 株	23年3月期2Q	17,590,616 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する定性的情報	2
(2)	財政状態に関する定性的情報	2
(3)	業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1)	四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4.	四半期財務諸表	4
(1)	四半期貸借対照表	4
(2)	四半期損益計算書	6
(3)	四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4)	継続企業の前提に関する注記	8
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6)	重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢は依然厳しい状況が続いているものの、東日本大震災の影響により大幅に減少していた企業の生産活動も、アジア等の新興国からの海外受注により持ち直しの兆しが見受けられ、それらの影響により個人消費も低調ながらも上向きの動きが見られる状況となっております。

こうした経済状況のもとで、主力事業であるスポーツクラブ事業は、「健康な生活を創造し、世のためにひとのために尽くす。」の経営理念に基づき、お客様の「健康」に対するニーズに対し着実にお応えすることに努め、平成23年4月に開校した「ホリデイカレッジ」において、サービスの質の向上のための教育研修を実施、また、新プログラム等の研究開発を行ってまいりました。

この結果、当四半期累計期間の売上高は5,892百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益1,262百万円（同3.6%増）、経常利益1,171百万円（同4.0%増）、四半期純利益661百万円（同13.3%増）となりました。

<スポーツクラブ事業>

「ホリデイスポーツクラブ」を全国で43店舗運営しているスポーツクラブ事業においては、お客様のニーズに対応したサービスを提供し、また、平成23年10月より開始するニュープログラム「Be a Dancer（ビー・ア・ダンサー）」（世界中のミュージックチャートを賑わす曲に合わせたダンスプログラム）、「ボクシングキング ラッシュ」、「ビューティクイーン ダイヤモンド」（女性限定）等の開発を行ってまいりました。

また、平成23年8月には「ホリデイスポーツクラブ一宮」、「ホリデイスポーツクラブ奈良」、「ホリデイスポーツクラブ鈴鹿」、「ホリデイスポーツクラブ松山」、「ホリデイスポーツクラブ沼津」においてリニューアル工事を実施いたしました。

この結果、前事業年度に開業した5店舗及び平成23年5月に開業いたしました「ホリデイスポーツクラブ札幌北24条」の增收効果により、売上高は4,735百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

<ホテル事業>

「A B ホテル」を愛知県内で5店舗運営しているホテル事業においては、朝夕食の無料サービス、ホームページやインターネット経路の予約販売の強化を継続して行った結果、売上高は476百万円（前年同期比13.4%増）となりました。

<不動産事業>

不動産事業における賃貸マンション「A・C i t y」の一般賃貸物件の入居状況に関しましては、リーマンショック以前の数値まで回復しておりますが、室単価が若干減少した結果、売上高は681百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ578百万円増加の26,510百万円となりました。

主な要因は、現預金が437百万円、第3四半期以降開業予定のホリデイスポーツクラブ建設に伴い建設仮勘定が326百万円増加したためであります。

負債総額は、事業年度末に比べ12百万円増加の18,558百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加により事業年度末に比べ565百万円増加の7,952百万円となりました。

自己資本比率は、前事業年度末に比べ1.5ポイント増加し30.0%となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローにつきましては、営業活動による収入が1,459百万円あった一方、スポーツクラブ建設等の投資活動による支出が708百万円、財務活動による支出が349百万円あった結果、現金及び現金同等物は以下のとおり、前年同四半期末に比べ57百万円増加し1,903百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,459百万円（前年同期比12.1%増）となりました。これは主に税引前当期純利益が1,169百万円、減価償却費が624百万円あった一方、法人税等の支払額が471百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は708百万円（前年同期比10.5%増）となりました。これは主にスポーツクラブ事業における新規出店のための有形固定資産取得による支出が669百万円、差入保証金の支出が94百万円あったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は349百万円（前年同期比18.4%減）となりました。これは主に有形固定資産取得に伴う長期借入金による収入が1,911百万円があった一方、短期借入金の純減少額が346百万円、長期借入金の返済額が1,412百万円、社債の償還による支出が260百万円、設備関係割賦債務の返済による支出が123百万円であったためであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間につきましては、予想値と比較し売上高では+1.6%でありましたが、平成23年8月にホリデイスポーツクラブ5店舗において計画値を上回る規模でのリニューアル工事を実施したため、営業利益では△0.6%と予想値を下回ったものの、経常利益では+1.0%、四半期純利益で+10.3%となっております。

現在の経済環境、スポーツクラブ事業における会員数の推移及びホテル事業の稼働率、不動産事業における入居率等を総合的に勘案し、平成23年5月9日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している固定資産につきましては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 繼続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,614,330	2,051,474
売掛金	25,249	29,726
営業未収入金	102,733	108,185
商品	2,605	1,659
貯蔵品	31,078	19,759
繰延税金資産	81,453	80,087
その他	194,590	193,365
貸倒引当金	△100	△130
流動資産合計	2,051,941	2,484,128
固定資産		
有形固定資産		
建物	22,970,733	23,331,061
減価償却累計額	△6,343,744	△6,821,024
建物（純額）	16,626,989	16,510,036
構築物	1,632,698	1,659,770
減価償却累計額	△941,959	△1,004,800
構築物（純額）	690,739	654,969
機械及び装置	469,692	492,013
減価償却累計額	△194,053	△222,586
機械及び装置（純額）	275,638	269,426
車両運搬具	36,148	36,148
減価償却累計額	△23,693	△26,314
車両運搬具（純額）	12,454	9,833
工具、器具及び備品	562,209	580,233
減価償却累計額	△418,247	△444,807
工具、器具及び備品（純額）	143,961	135,426
土地	3,336,290	3,241,466
リース資産	205,858	205,858
減価償却累計額	△78,765	△100,034
リース資産（純額）	127,093	105,824
建設仮勘定	236,065	562,805
有形固定資産合計	21,449,233	21,489,790
無形固定資産		
投資その他の資産	27,758	24,586
敷金及び保証金	1,267,476	1,340,237
繰延税金資産	447,418	466,446
その他	654,322	677,106
貸倒引当金	△4,830	△4,830
投資その他の資産合計	2,364,387	2,478,960
固定資産合計	23,841,379	23,993,337
繰延資産		
株式交付費	3,491	2,444
社債発行費	35,535	30,453
繰延資産合計	39,026	32,897
資産合計	25,932,346	26,510,362

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,227	12,302
短期借入金	1,114,668	768,000
1年内償還予定の社債	520,000	520,000
1年内返済予定の長期借入金	2,679,890	3,000,378
リース債務	41,507	36,660
未払法人税等	489,741	545,872
その他	1,073,728	1,151,524
流動負債合計	5,931,762	6,034,737
固定負債		
社債	1,440,000	1,180,000
長期借入金	9,242,630	9,420,937
リース債務	90,080	74,293
役員退職慰労引当金	740,800	764,310
資産除去債務	162,516	164,746
その他	937,539	919,249
固定負債合計	12,613,567	12,523,537
負債合計	18,545,330	18,558,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	497,914	497,914
資本剰余金	361,264	361,264
利益剰余金	6,528,132	7,093,221
自己株式	△1,162	△1,180
株主資本合計	7,386,148	7,951,219
新株予約権	868	868
純資産合計	7,387,016	7,952,087
負債純資産合計	25,932,346	26,510,362

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	5,346,924	5,892,489
売上原価	3,673,147	4,076,052
売上総利益	1,673,777	1,816,436
販売費及び一般管理費		
役員報酬	124,335	131,625
給料	34,374	51,774
支払手数料	68,682	81,679
その他	227,498	288,604
販売費及び一般管理費合計	454,890	553,684
営業利益	1,218,886	1,262,751
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,910	2,536
受取手数料	54,986	54,658
雑収入	19,152	20,609
営業外収益合計	77,049	77,804
営業外費用		
支払利息	142,768	138,934
雑損失	26,674	30,593
営業外費用合計	169,443	169,528
経常利益	1,126,492	1,171,027
特別利益		
固定資産売却益	999	52
貸倒引当金戻入額	20	—
特別利益合計	1,019	52
特別損失		
固定資産売却損	—	1,147
固定資産除却損	2,987	112
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	109,727	—
特別損失合計	112,715	1,260
税引前四半期純利益	1,014,797	1,169,820
法人税、住民税及び事業税	507,494	525,644
法人税等調整額	△76,765	△17,661
法人税等合計	430,729	507,982
四半期純利益	584,067	661,837

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,014,797	1,169,820
減価償却費	613,774	624,362
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	109,727	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	30
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	22,740	23,510
受取利息及び受取配当金	△2,910	△2,536
支払利息	142,768	138,934
社債発行費償却	3,609	5,081
株式交付費償却	1,047	1,047
有形固定資産売却損益（△は益）	△999	1,094
有形固定資産除却損	2,987	112
売上債権の増減額（△は増加）	△13,372	△9,928
たな卸資産の増減額（△は増加）	△8,579	12,264
仕入債務の増減額（△は減少）	15,868	74
未払又は未収消費税等の増減額	△332	41,425
その他の資産の増減額（△は増加）	11,468	△840
その他の負債の増減額（△は減少）	26,337	61,052
小計	1,938,932	2,065,506
利息及び配当金の受取額	428	271
利息の支払額	△142,199	△135,020
法人税等の支払額	△495,233	△471,547
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,301,928	1,459,209
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△51,037	△36,038
有形固定資産の取得による支出	△501,630	△669,980
有形固定資産の売却による収入	3,523	99,325
会員権の取得による支出	—	△3,950
貸付金の回収による収入	744	510
差入保証金の差入による支出	△87,676	△94,576
その他	△5,684	△4,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	△641,759	△708,923
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△555,774	△346,668
長期借入れによる収入	1,696,000	1,911,000
長期借入金の返済による支出	△1,492,674	△1,412,205
社債の償還による支出	△160,000	△260,000
セール・アンド・リースバック取引による収入	218,941	—
自己株式の取得による支出	△52	△18
配当金の支払額	△87,350	△96,704
設備関係割賦債務の返済による支出	△27,631	△123,950
リース債務の返済による支出	△19,450	△20,632
財務活動によるキャッシュ・フロー	△427,990	△349,179
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	232,177	401,105
現金及び現金同等物の期首残高	1,613,946	1,502,274
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,846,123	1,903,380

(4) 繼続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

(開示の省略)

セグメント情報、その他の注記事項、補足情報につきましては第2四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため記載を省略しております